

被爆 75 年を迎え両被爆地をはじめ世界各地で追悼行事が開催されました

原爆投下から 75 年を迎えた 8 月 6 日・9 日に、広島市・長崎市では平和記(祈)念式典が厳かに挙行されました。今年の式典は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、世界中から被爆地に多くの人々を招待することができず、例年に比べ規模を大幅に縮小したものとなりました。しかし、自国第一主義が台頭する中、核軍縮の動きを停滞させるわけにはいきません。それぞれの式典において、両市長は、核兵器廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向けた「平和宣言」を行いました。



平和記念式典(広島市) 写真提供: 広島市



平和祈念式典(長崎市) 写真提供: 長崎市

▼広島市長による「平和宣言」の動画(YouTube) :

<https://www.youtube.com/watch?v=q4pSUsWQ6R8>



平和首長会議では、国内外の加盟都市において、被爆者の思いを受け継ぎ次代を担う青少年が平和への思いを受け継ぎ、主体的に活動していくよう促すために、8 月 4 日に平和教育ウェビナー(オンラインのセミナー)“No more Hiroshima! No more Nagasaki!” 次代の平和活動を担う若者たちーを開催しました。ウェビナーでは、まず専門家による「現下の核兵器を巡る国際情勢」についての講義を聴講し、続いて広島・長崎で活動する青

少年と、過去に平和首長会議の「青少年『平和と交流』支援事業」に参加した 5 都市の青少年が、それぞれの都市で行っている平和活動や平和への思いについて発表しました。それぞれの発表の後には、10 か国 17 都市から参加した聴講者が質疑応答を通じて発表者と意見交換を行いました。当ウェビナーの様子はインターネットで同時配信され、多くの方々に視聴していただきました。録画した動画は、平和首長会議のウェブサイト上で公開しています。

▼ウェビナーの概要・動画はこちらから(平和首長会議ウェブサイト) :

http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/news/200701_news.html

8月6日、広島市の平和記念公園では、「子どもたちの平和のメッセージ展」が開催されました。広島市などの呼び掛けに応じて、広島市内や国内の平和首長会議加盟自治体の小・中・高校生などから寄せられたメッセージを展示したものです。メッセージには、「平和な未来をつくるのは私達」、「75年間守られてきた平和を今度は私達が守っていきます。」など平和な未来へ向けた思いが綴られていました。コロナ禍の中、例年のように、他県から式典参列のために広島を訪れる子どもたちと、広島の子供たちが一堂に会することはできませんでしたが、心を一つに、広島の地から平和のメッセージを発信することができました。



世界中の加盟自治体においては、被爆75年を迎えた8月6日と9日を中心に、慰霊や平和祈念のための行事が実施されました。各地で原爆犠牲者を追悼し、平和を願う行事に取り組んで下さった関係者の皆様に感謝します。これらの行事を含め、加盟都市の活動や、平和首長会議行動計画に基づく取組に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼加盟都市の活動(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/whatsnew/index.html#activity>

▼平和首長会議行動計画に基づく取組実施都市等一覧(海外)(8月17日現在)(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/04_list_of_activities/2020_List_of_Activities_jp.pdf